

# Cisco Unity Connection 再ネゴシエーションの失敗解決

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco Unity Connection 10.5での再ネゴシエーション障害の解決](#)

[障害の理由](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Connectionパブリッシャとサブスクリバの間の再ネゴシエーション障害を解決する手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

Linuxに関する知識があることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unity Connectionバージョン10.5.2に基づくものです

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## Cisco Unity Connection 10.5での再ネゴシエーション障害の解決

Unity Connectionサーバから再ネゴシエートログを収集します。

- 再ネゴシエートされたログには次のようなスニペットが表示されます。

```
+ [[ -n '' ]]
+ [[ -z '' ]]
+ target_exec /opt/cisco/connection/bin/cuc_controlcenter.sh '"A' Cisco 'DB"' start
+ sudo -u cucluster ssh gaxgpvs96 ' sh -lc '\''source /usr/local/cm/db/informix/local/ids.env &&
/opt/cisco/connection/bin/cuc_controlcenter.sh' '"A' Cisco 'DB"' 'start'\''
sh: /opt/cisco/connection/bin/cuc_controlcenter.sh: Permission denied
++ error
++ '[' 0 -eq 1 '']'
```

```
++ '[' 0 -eq 1 ']'
++ echo 'Cluster renegotiation failed.'
++ echo 'The cluster renegotiation log cuc-cluster-rejoin_2016-01-30_14.53.47.log can be found
in the installation logging location through the CLI or RTMT.'
++ exit 1
```

- 次の項目に集中する必要があります。

```
sh: /opt/cisco/connection/bin/cuc_controlcenter.sh: Permission denied
```

- 新しいパブリッシャと使用可能なサブスクリバノードの両方でSELinuxモードを無効にするには、**utils os secure permissive**コマンドを使用します。
- SELinuxを無効にした後、**renegotiate**コマンド**utils cuc cluster renegotiate**を実行します。

このコマンドは、接続クラスタ内のパブリッシャサーバとのクラスタ関係を、サーバの交換後またはパブリッシャサーバへの接続の再インストール後に作成します。このコマンドは、パブリッシャサーバ上のすべてのデータをサブスクリバサーバからのデータで上書きし、サーバ間のレプリケーションを初期化します。

注：サーバクラスタがセットアップされ、2つのノード間のレプリケーションが正常に行われた後は、SELinuxを有効にしてください。

## 障害の理由

Cisco Unity Connection 10.5で再ネゴシエーションが失敗する主な理由はSELinuxで、bashが/opt/cisco/connection/bin/cuc\_controlcenter.shファイルに対してgetattrアクセスするのを防いでいます。